



## PFI 導入、知事・県議の期末手当増額などに反対 保育士配置基準の改善求める意見書 全会一致で採択

### 酒井県議が討論

群馬県議会第3回後期定例会は12月14日、物価高騰対策などを盛り込んだ補正予算案などを可決し、閉会しました。酒井宏明県議が一部の議案および請願について反対討論しました。

敷島公園新水泳場はPFI方式で整備するため、20年間で231億円という規模になります。酒井氏は、PFIは民間事業者に公共施設の設計から建設、管理運営までまかせ、莫大な利益をもたらす一方で、撤退や経営破綻の事例もあると指摘。議会や住民による民主的コントロールが困難になるほか、利用者負担増、住民サービスの切り捨てにつながりかねないとして反対。GunMaaSにかかわるマイナンバーカードの取得促進のための予算に反対しました。



給与改定の議案について酒井氏は、県職員給与の引き上げに賛成する一方、知事等特別職および議員報酬の期末手当引き上げについては「お手盛り感がぬぐえない」と反対。深刻さを増すがザ危機について、人道的即時停戦を求める決議を県議会としてもあげるべきだと主張しました。

保育士の配置基準見直しと処遇改善を求める意見書は全会一致で採択されました。自民党が紹介議員となった同趣旨の請願は採択、共産党が紹介議員になった請願は趣旨採択となりました。

継続審査となった学校給食費の無償化を求める請願について、共産党は採択を求め、立憲民主党系の「リベラル群馬」も継続に反対し、事実上採択を求めました。

酒井県議の討論  
(録画)はこちら

